



東海自動車工業株式会社

2015年度 環境活動レポート

(2015年4月～2016年3月)

発行

2016年10月

確認	作成
望月	小泉

東海自動車工業株式会社

環境方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、自動車整備・販売等の事業活動において、持続可能な人にやさしく、地球にやさしい社会の実現を目指すことにより、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減に取り組みます。

自社における電力・燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

2. 資源の有効利用のため、廃棄物の削減に取り組みます。

① 事務所での一般廃棄物の削減と分別廃棄を可能な限り努めます。

② 自動車整備業務に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効利用に努めます。

3. 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。

① 自動車整備業務の洗車・工場清掃時に使用する水の節水に努めます。

② 事務所での節水に努めます。

4. 地球環境保全のため、自動車整備において環境に配慮した整備に取り組みます。

5. 循環型社会推進のため、グリーン購入やグリーン調達を推進します。

6. P R T R法を遵守し、化学物質の管理を行います。

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

7. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

8. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2009年3月31日

改定日：2015年5月20日

東海自動車工業株式会社
代表取締役社長

長野 高幸

□登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

東海自動車工業株式会社
代表取締役社 長野 高幸

(2) 所在地

本社及び静岡支店: 静岡県静岡市駿河区国吉田二丁目1番11号 2010年4月9日より認証・登録

TEL 054-263-1122

FAX 054-263-8523

藤枝支店: 静岡県藤枝市南新屋239 2014年4月9日より認証・登録

TEL 054-641-2525

FAX 054-644-8775

吉田支店: 静岡県榛原郡吉田町住吉780-1 2014年4月9日より認証・登録

TEL 0548-32-1391

FAX 0548-32-2374

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理本部 望月隆弘 TEL: 054-263-1122

担当者 総務部 小泉 浩 TEL: 054-263-1122

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

自動車の整備加工・販売・関連商品販売・賃貸・管理請負, 保険代理店業務並びに電機機械器具・通信機械器具・事務用機械器具の販売修理業

(5) 事業の規模

売上高 33億円 (2015年4月～2016年3月)

	本社	静岡支店	藤枝支店	吉田支店	合計
従業員	41名	77名	43名	24名	185名
延べ床面積	4,053㎡		2,671㎡	2,199㎡	8,923㎡

(6) 事業年度 当年4月～翌年3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 東海自動車工業株式会社

活動: 自動車の整備加工・販売・関連商品販売・賃貸・管理請負, 保険代理店業務並びに電機機械器具・通信機械器具・事務用機械器具の販売修理業

□主な環境負荷の実績

静岡地区(本社及び静岡支店)

電力co2排出係数=0.509

項目	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	352,030	358,461	381,064	401,284	380,369
廃棄物排出量	kg/年	216,760	222,460	154,390	180,830	181,250
一般廃棄物量排出量	kg/年	4,490	4,490	2,210	2,520	2,220
産業廃棄物排出量	kg/年	212,270	217,970	152,180	178,310	179,030
総排水量	m ³ /年	4,910	4,261	4,671	4,264	4,434

*2010年4月9日より適用対象

藤枝地区(藤枝支店)

電力co2排出係数=0.509

項目	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年			193,181	186,376	176,731
廃棄物排出量	kg/年			5,800	5,300	7,400
一般廃棄物量排出量	kg/年			0	0	0
産業廃棄物排出量	kg/年			5,800	5,300	7,400
総排水量	m ³ /年			1,401	1,539	2,151

*2014年4月9日より適用対象

吉田地区(吉田支店)

電力co2排出係数=0.509

項目	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年			77,220	75,088	78,985
廃棄物排出量	kg/年			1,588	1,743	1,572
一般廃棄物量排出量	kg/年					
産業廃棄物排出量	kg/年			1,588	1,743	1,572
総排水量	m ³ /年			107	119	111

*2014年4月9日より適用対象

静岡地区

環境目標及びその実績

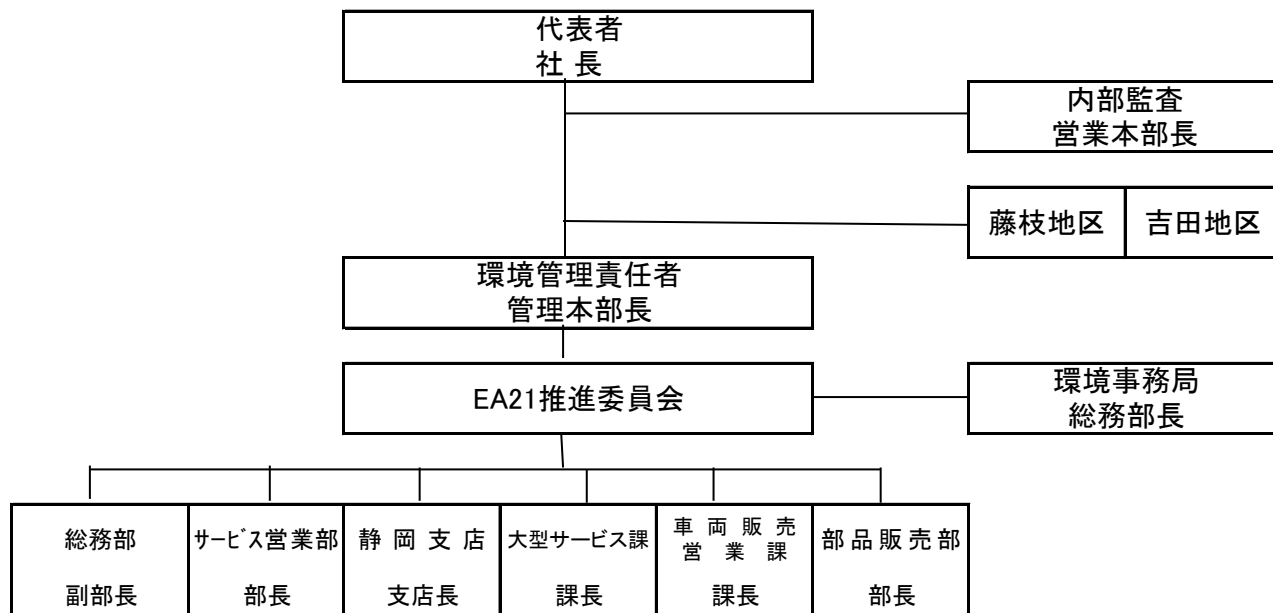
項目		2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度
		(実績) 基準年度	(目標) 基準年度比	(実績) 新基準	(目標) 新基準年度比	(目標) 新基準年度比	(目標) 新基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 排出係数換算 2014年度以降 0.509	219,736	217,539	212,070	209,949	208,889	207,829
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	181,548	179,733	168,299	166,616	165,775	164,933
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	401,284	397,272	380,369	376,565	374,664	372,762
			99.0%	新基準	98.5%	98.0%	98.0%
一般廃棄物の削減	(kg/年)	2,520	2,507	2,220	2,209	2,495	2,492
			99.5%	新基準	99.5%	99.0%	98.5%
産業廃棄物の削減	(kg/年)	178,310	177,418	179,030	178,135	177,240	176,345
			99.5%	新基準	99.5%	99.0%	98.5%
節水	(m ³ /年)	4,264	4,243	4,434	4,412	4,390	4,367
			99.5%	新基準	99.5%	99.0%	98.5%
CNG・LPG車両の販売	(千円)	2,600	2,600	500	2,600	2,600	2,600
			100.0%	新基準	100.0%	100.0%	100.0%
環境配慮の整備・製品の販売促進 ECOバッテリー	(個/年)	284	312	356	392	409	427
			110.0%	新基準	110.0%	115.0%	120.0%
グリーン購入	(千円)	11,108	11,219	11,496	11,611	11,726	11,841
			101.0%	新基準	101.0%	102.0%	103.0%
化学物質の適正管理	(kg/年)	919	910	455	451	410	364
			99.0%	新基準	99.0%	90.0%	80.0%

(注) 二酸化炭素にLPG, 灯油は入っていません。

電力の削減につきましては、前年度より継続的取組として、クールビズによる冷房稼働削減や未使用照明の消灯や、小型サービス工場へのLED照明の追加導入を実施し、成果として今年度の電力削減目標を達成することができ、自動車燃料の削減におきましても、継続的に取組むことで安全意識、燃費向上意識が高まり、削減目標を達成することが出来ました。LPG・CNG車両の販売に於いては、お客様の需要が次世代燃料車へと変わり激減、目標設定を次世代燃料車販売にシフトしていくことといたしま

東 海 自 動 車 工 業 株 式 会 社 環 境 経 営 シ ス テ ム 組 織 図

静岡地区



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な、要員、設備、費用等を承認。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境活動責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境経営システムの実施に必要な、要員、設備、費用等を準備。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環境活動の取り組み計画と評価

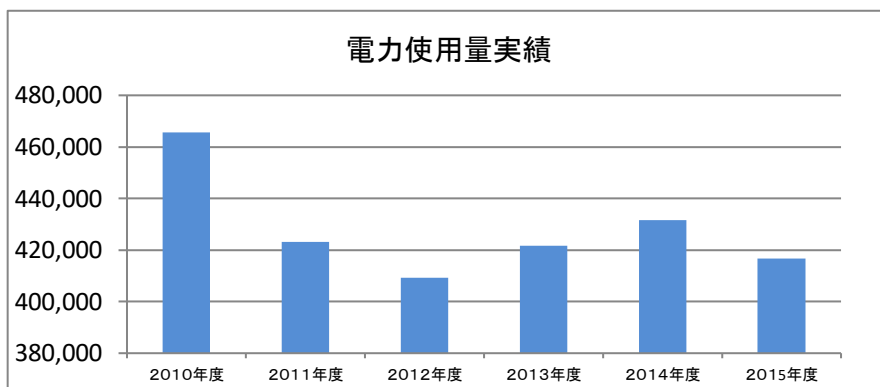
静岡地区

取り組み計画	次年度取組 (継続=○取 止め×)	評価 (結果と次年度の取り組み内容)
電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・室内エアコンは、夏28℃、冬20℃を原則とする ・電気器具の買換時には省エネタイプの機器の導入 ・クールビズ・ウォームビズ運動 (継続) ・昼休みや未使用時の消灯 ・「節電」ステッカーによる節電意識の徹底 ・作業効率向上による総労働時間の削減 	○	<p style="text-align: center;">目標達成</p> <p>従業員に節電意識はできている。電力使用量削減につながるように、従業員の総労働時間の削減を図るため、業務改善に取り組んできた、結果がでてきていることから、継続していく。次年度は更なる改善の為、個々の作業時間を計測し、平均作業時間を割り出すことで評価基準を決め評価していく。</p>
自動車燃料の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・燃費のよい車の購入 (更新時) 	○	<p style="text-align: center;">目標達成</p> <p>継続的に営業車両ごとの燃費測定、ドライブレコーダー装着に合わせ安全運転指導を実施することで、安全運転意識の向上を図り、燃費向上と全体使用量の削減ができた。次年度はエコカーの導入を含め削減計画を進めていく。</p>
一般廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・裏紙使用、ミスコピーの防止 ・分別による古紙のリサイクル ・会議資料の削減 	○	<p style="text-align: center;">目標達成</p> <p>前年同様ミスコピーの防止や裏紙利用により廃棄物量の削減を図り、トリクルの利用等により、リサイクルを進めてきた。次年度は会議などの添付資料は、必要最小限に情報等の集約をして削減を進めていく。</p>
産業廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・社内での再使用 ・リサイクル先の開拓 ・分別回収 ・3Rの推進 	○	<p style="text-align: center;">目標未達成</p> <p>事故修理の際、再利用推奨に取り組んでい来たが、在庫量の増加に伴い全体量が増えてしまった。次年度も継続的にリサイクル部品の有効活用を進めていく。</p>
節水 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼びかけ ・節水弁の取り付け ・水弁取替時に自動水弁を検討する ・洗車、工場清掃時の節水 	○	<p style="text-align: center;">目標未達成</p> <p>節水に対する取組意識は定着しているが、洗車機の不具合もあり、結果未達。次年度は節水タイプの洗車機を導入し、引き続き節水意識を持ち、使用量削減に取り組んでいく。</p>
LPG・CNG車の販売 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成 ・客先へのPR ・ホームページへの掲載 	×	<p style="text-align: center;">目標未達成</p> <p>次世代燃料車への移行が進み、お客様からの需要が激減。目標未達となる。次年度も継続的販売はするものの、販売推進目標は次世代車両の販売にシフトしていく。</p>
ECOバッテリーの販売 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成 ・客先へのPR ・ホームページへの掲載 ・車検点検時アピール 	○	<p style="text-align: center;">目標達成</p> <p>車毎、適したバッテリーを進めることで燃費向上にも繋がることから、次年度もお客様へ正しい情報を提供し販売推奨していく。</p>
グリーン購入 <ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品から購入する ・中古部品購入額を集計指標する 	○	<p style="text-align: center;">目標達成</p> <p>次年度も、お客様の了解のもとに再生部品の取扱となるが、説明をしっかりと行って推奨販売を継続実施していく。</p>
化学物質の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> ・PRTR法の遵守 ・PRTR法に係る化学物質の実績集計 	○	<p style="text-align: center;">目標達成</p> <p>化学物質が含まれない塗料への移行を進めてきた結果、大幅な削減を実現することが出来た。次年度も継続していく。</p>

□環境活動実績年度別推移
静岡地区

* 電力使用量

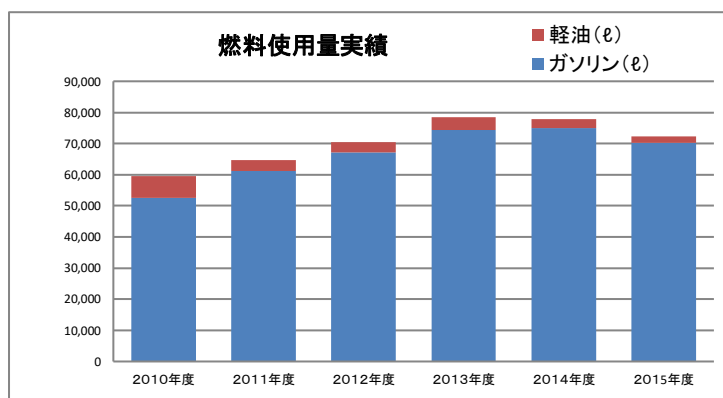
年度	使用実績(KW)
2010年度	465,620
2011年度	423,065
2012年度	409,285
2013年度	421,722
2014年度	431,702
2015年度	416,641



削減運動の取組初年度より使用していない場所の電灯消灯や省電力品への切替を継続、本社屋に引き続いて小型サービス工場にLED照明を導入したことによる効果がでてきている。2013年度下期より塗装作業の増加に伴う増加傾向を抑制するため、作業時間の短縮や総労働時間の短縮による削減を図っている。

* 燃料使用量

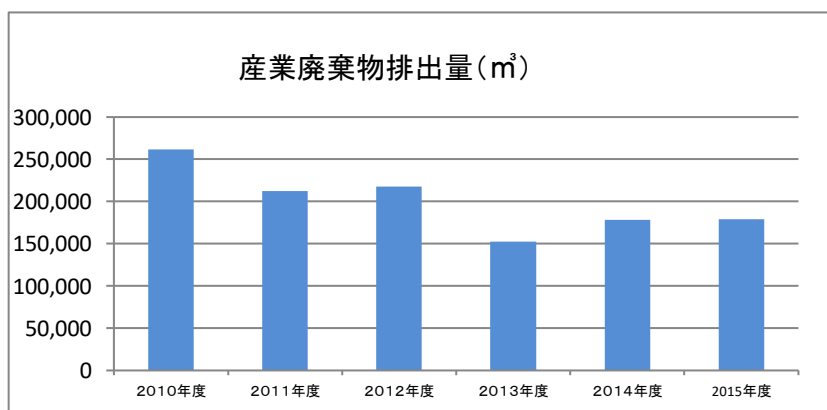
年度	ガソリン(ℓ)	軽油(ℓ)
2010年度	52,467	7,172
2011年度	61,164	3,618
2012年度	67,164	3,249
2013年度	74,426	3,995
2014年度	74,992	2,888
2015年度	70,239	2,040



取組み初年度より、年々増加傾向にあり要因は営業活動の増加と推測してきたが、効果(売上高等)との連動は明確にはできていない。2014年度より、燃費向上に主眼を置いて、アイドリングストップや急発進急加速の防止等の活動に加えて、ドライブレコーダーの装着による安全運転への取組みも始め、安全運転指導を実施するなど安全運転意識、燃費向上意識への改善に努め、僅かではあるが効果が表れてきている。

* 産業廃棄物排出量

年度	排出量(m ³)
2010年度	261,870
2011年度	212,270
2012年度	217,970
2013年度	152,190
2014年度	178,310
2015年度	179,030



産業廃棄物の排出については、2013年度を底辺に増加傾向にある。業務過多に伴い、廃棄物の分別管理やリサイクル等への関心、取組み意識が薄れてきているかに見える結果となっている。安全衛生委員会などをつうじて社員意識の向上を図り、2016年度は社内での再使用、取引業者においても、廃棄ではなく回収対応等による再資源化ができていくリサイクル先の開拓に取り組んでいきたい。

藤枝地区

環境目標及びその実績

項目		2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度
		(実績) 基準年度	(目標) 基準年度比	(実績) 新基準	(目標) 新基準年度比	(目標) 新基準年度比	(目標) 新基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 排出係数換算 2014年度0.509	76,599	75,833	75,152	74,401	74,025	73,649
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	109,777	108,697	101,579	100,564	100,055	99,547
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	186,376	184,530	176,731	174,965	174,080	173,196
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
産業廃棄物の削減	(kg/年)	530	525	740	733	729	725
			99.5%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
節水	(m ³ /年)	1,539	1,524	(実績1,539) 修正値1,310	1,297	1,290	1,284
			99.5%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
グリーン購入	(千円)	8,036	8,116	10,356	8,116	8,197	8,277
			101.0%	新基準	101.0%	102.0%	103.0%
化学物質の適正管理	(kg/年)	238.8	236.4	95.8	94.8	86.2	76.6
			99.5%	新基準	99.0%	90.0%	80.0%

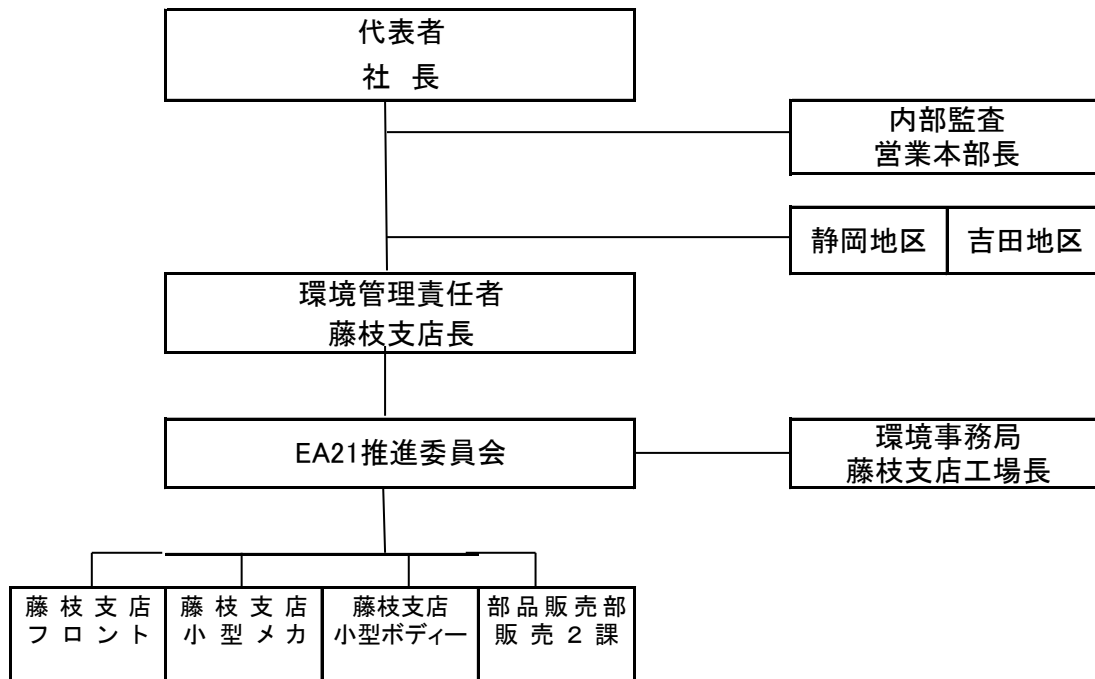
(注) 二酸化炭素にLPG、灯油は入っていません。

節水項目2016年度目標設定について、2015年度2月に漏水事故により異常値がみられたことから基準値を修正しております。

2014年度より取組、従業員の取組意識も高まりつつある。
二酸化炭素排出量においては、電力使用量及び自動車燃料使用量において、減少することができた。
化学物質の適正管理においても、特定化学物質が含まれていない水性塗料に切り替えることで、使用量を削減することができました。数導水の使用量について、漏水事故に気付くことができず、僅か2ヶ月で年間使用量にあたる水資源の損失を出してしまった。今後は、検針時以外に自ら計量メーターを確認することで早期発見、漏水被害を最小限に抑えることとした。

東海自動車工業株式会社 環境経営システム組織図

藤枝地区



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な、要員、設備、費用等を承認。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境活動責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境経営システムの実施に必要な、要員、設備、費用等を準備。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環境活動の取り組み計画と評価

藤枝地区

取り組み計画	次年度取組 (継続=○取 止め×)	評価 (結果と次年度の取り組み内容)
電力の削減 ・室内エアコンは、夏28℃、冬20℃を原則とする ・電気器具の買換時には省エネタイプの機器の導入 ・クールビズ・ウォームビズ運動 (継続) ・昼休みや未使用時の消灯 ・「節電」ステッカーによる節電意識の徹底 ・作業効率向上による総労働時間の削減	○	目標達成 初年度からの継続的取組により、結果が出ている。 昼休み等の未使用時消灯を従業員への周知を図り、総労働時間削減による電力使用量の削減においても継続できている。 次年度以降も、活動を継続していく。
自動車燃料の削減 ・アイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・燃費のよい車の購入 (更新時)	○	目標達成 静岡支店同様、ドライブレコーダー装着による安全意識の向上を図るなど、燃費向上への取組を実施してきた。結果が出ていることから次年度も継続していく。
産業廃棄物の削減 ・社内での再使用 ・リサイクル先の開拓 ・分別回収 ・3Rの推進	○	目標未達成 再利用 (社外への対応も含めて) に向けて取り組んできたが、仕事量の増加に伴う産廃物の増加か、調査し課題の抽出をして改善していく。
節水 ・節水の呼びかけ ・水弁取替時に自動水弁を検討する ・洗車、工場清掃時の節水	○	目標未達成 前年度実績を踏まえ、洗車、工場清掃時に使用する水の節水に取組、社員への意識付けができ結果が表れてきていたが、2月漏水事故が発生し、大幅な使用量増につながってしまった。対策として、定期検針時以外に終業等の際、自主検査を実施していく。次年度も継続的な活動を実施していく。
S R・E Rの販売 ・パンフレットの作成 ・客先へのPR チラシなど ・ホームページへの掲載	○	目標達成 パンフレット等により販売を推進してきた結果、目標達成することができた。次年度も推奨販売をしていく。
グリーン購入 ・エコマーク商品から購入する ・中古部品の活用	○	目標達成 再生品の取扱となることから、お客様の了解のもと、説明をしっかりと行うことで目標達成することができた。次年度も継続的に取組むことで結果を出していく。
化学物質の適正管理 ・PRTR法の遵守 ・PRTR法に係る化学物質の実績集計	○	目標達成 作業効率などの課題はあるが、化学物質が含まれない塗料への移行を進てきた結果、大幅な削減を実現することが出来た。次年度も継続していく。

S R = 車の安全走行記録 (車のフレイトレコーダー)

E R = エンジンリフレッシュ (エコ車検)

吉田地区

環境目標及びその実績

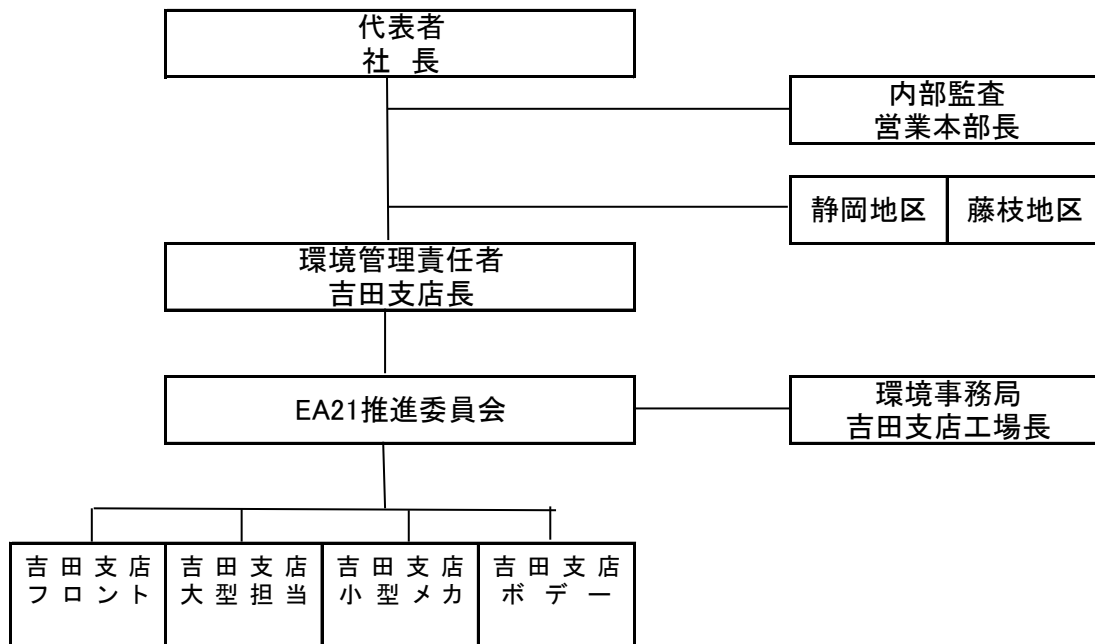
項目		2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度
		(実績) 基準年度	(目標) 基準年度比	(実績) 新基準	(目標) 新基準年度比	(目標) 新基準年度比	(目標) 新基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 排出係数換算 2014年度0.509	52,718	52,191	51,915	51,396	51,136	50,877
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	22,320	22,097	27,070	26,799	26,664	26,529
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	75,038	74,288	78,985	78,195	77,800	77,406
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
産業廃棄物の削減	(kg/年)	1,743	1,726	2,204	2,182	2,171	2,160
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
節水	(m ³ /年)	119	118	111	110	109	108
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%
グリーン購入	(千円)	2,443	2,467	3,088	3,119	3,150	3,181
			101.0%	新基準	101.0%	102.0%	103.0%
化学物質の適正管理	(kg/年)	707.8	700.7	574.6	568.9	566.0	563.1
			99.0%	新基準	99.0%	98.5%	98.0%

(注) 二酸化炭素にLPG, 灯油は入っていません。

二酸化炭素排出量の削減のため、未使用照明の消灯など、従業員の取組意識はできているが、前年度同様、自動車燃料については、営業活動強化に伴う使用量増となっている。産業廃棄物の削減においては、分別回収はできているが、業務量の増加に伴う増加がみられた。排出量削減のため、2016年度も、社内での再使用を推奨していく。

東海自動車工業株式会社 環境経営システム組織図

吉田地区



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な、要員、設備、費用等を承認。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境活動責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。、 ・環境経営システムの実施に必要な、要員、設備、費用等を準備。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環境活動の取り組み計画と評価

吉田地区

取り組み計画	次年度取組 (継続=○取 止め×)	評価 (結果と次年度の取り組み内容)
電力の削減 ・室内エアコンは、夏28℃、冬20℃を原則とする ・電気器具の買換時には省エネタイプの機器の導入 ・クールビズ・ウオームビズ運動 (継続) ・昼休みや未使用時の消灯 ・「節電」ステッカーによる節電意識の徹底 ・作業効率向上による総労働時間の削減	○	目標達成
		クールビズ、昼休み等の未使用時消灯を実施してきた。また、総労働時間削減による電力使用量の削減もできた。次年度以降も、活動を継続し、推移を見ていく。
自動車燃料の削減 ・アイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・燃費のよい車の購入 (更新時)	○	目標未達成
		今年度もエコ運転、安全運転への取組を行なっているが、営業活動の活発化等により全体の燃料使用量は増加した。安全運転への取組指導が継続実施されていない。次年度は継続指導をしていく。
産業廃棄物の削減 ・社内での再使用 ・リサイクル先の開拓 ・分別回収 ・3Rの推進	○	目標未達成
		産業廃棄物の分別回収については、実施できている。再利用 (社外への対応も含めて) に向けての取組は不十分であった。次年度は従業員への周知をすることで意識改善を図る。
節水 ・節水の呼びかけ ・水弁取替時に自動水弁を検討する ・洗車、工場清掃時の節水	○	目標達成
		僅かではあるが効果がでてきている。洗車時の節水など従業員の取組姿勢ができてきた。今後も継続していく。
S R・E Rの販売 ・パンフレットの作成 ・客先へのPR チラシなど ・ホームページへの掲載	○	目標達成
		お客様の意識の中で、まずは、安全が優先され、コストに対する厳しい見方が多く、販売が難しくなっている。次年度はパンフレット等により販売を推進していく。
グリーン購入 ・再生品部品の活用 ・中古部品の活用	○	目標達成
		お客様の了解のもとに再生部品の取扱となるが、説明をしっかりと行って、再生部品の活用を更に推進していきたい。
化学物質の適正管理 ・PRTR法の遵守 ・PRTR法に係る化学物質の実績集計	○	目標達成
		他支店同様、化学物質が含まれない塗料への移行を進てきた結果、大幅な削減を実現することが出来た。来年度も継続していく。

S R = 車の安全走行記録 (車のフレイトレコーダー)

E R = エンジンリフレッシュ (エコ車検)

□環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

主な適用法規等	該当する活動	遵守状況
自動車リサイクル法	使用済み自動車の再資源化に関する法律	遵守
	・フロン回収報告書の確認	
高圧ガス保安法	フロン回収用ボンベの容器再検査	遵守
	・ボンベの現物確認及び検査証確認	
道路運送車両法	保安基準への適合	遵守
	・車検記録簿の記入及び内容確認	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の排出適正処理	遵守
	・廃棄物処理業者との契約書及び許可書確認	
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の確認	
消防法	消火設備の設置、維持管理、危険物の取扱と保管	遵守
	・防災通報訓練の実施確認	
	・消防設備の定期点検確認	
水質汚濁防止法	自動式車両洗浄装置	遵守
	・既届出書の確認	
	・油水分離槽の定期点検確認	
浄化槽法	浄化槽の適正使用、定期的な維持管理	遵守
	・浄化槽定期点検確認	
騒音規制法	規制基準の遵守、特定施設として届出	遵守
	・既届出書の確認	
振動規制法	規制基準の遵守、特定施設として届出	遵守
	・既届出書の確認	
労働安全衛生法	塗装ブース、集塵装置などの設置届出	遵守
	・労働基準監督署への届出書確認	
	・健康診断実施状況及び結果表の届出書確認	
フロン排出抑制法	フロン機器「使用時」のフロン漏えい防止措置（業務用冷房空調機）	遵守
	・簡易点検（3ヶ月に一度以上）	
	・定期点検（3年に1回以上）	

今後実施予定

環境関連法規制等の遵守状況の評価（2016年2月実施、環境管理責任者他による）の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

導入時より6年目となり、2015年度からは、各事業所が同様の活動ができるように推進、取組してきたが、意識の低下、形骸化が伺える活動もあることから、教育計画を立て、管理職を含む全従業員への教育を実施してきた。

次年度は、外部環境並びに内部環境を加味した、実施項目設定の見直しを図り、新たな取組もしていく。

（代表取締役 長野 高幸）